

平成30年(2018年)6月26日(火曜日)

土地売却で「損害」
市に再び監査請求

三島・市民の会代表

三島駅南口西街区の
開発事業の土地売却で
三島市に損害を与えた
として、「三島駅南口
の整備を考える市民の
会」の渡辺豊博代表
(68)は25日、豊岡武士

市長に対し市が被った
とする損失分計約2億
7300万円を補填
(ほてん)するよう求
める住民監査請求を起
こした。

渡辺氏は市土地開発
公社所有の事業地31
41平方メートルを、市が簿
備などに基づいて1平

方メートル約15万7千
円で同公社から買い取
り、その上で同氏が独
自に依頼した不動産調
査報告書で算定された
24万4千円で東急電鉄
(東京都)に売却すれ
ば差益が出たと主張し
た。実際には同公社が
東急に約12万8千円で
売却した。

これに対し市は文書
で「市執行機関や職員
の不正、法規・法令違
反は断じてなく、土地
売却も適正に処理され
ている」と反論した。

同氏は1月にも同事
業の土地売却に関し住
民監査請求を起し、
棄却された。